

今月の「トピックス」

1. 遠い未来を見据えて！
2. 中古マンションの売買契約
3. 震災被害者の賃貸契約！
4. 地球が怒っている！
5. 地震が及ぼした影響！
6. 生活保護費の見直しを！
7. 突然の別れ、ベストな最後！
8. おかやま的ココロ
9. ほほえみ日記

若者よ、立ち上がれ！
地震・津波・放射能漏れ、
日本はいつたい
どうなっているんだ？
気が付けば自然破壊と地球
の温暖化だ。もっと考えて
生活しようよ。地球に優しい
科学を考えようよ！



1. 遠い未来を見据えて！

私たちは大地震・津波・原発事故の大震災を経験して、資源の大切さ・家族の繋がり・人々の助け合い・未来に向けての計画などたくさんの事を考えました。

日々あたりまえのように使っている「電気・ガス・水道」ですが、すべてが遮断されるという体験をした人が数十万人も出て、関係が少ない地方にも「節約」という形で影響が出ました。

東京電力の計画停電では、数時間も真っ暗な中で過ごした方も多いです。電気の使用量を抑えるために看板の電気を消したり、早めに店舗を閉める所も増えています。

アプローチは川越線と同じ電源になっているとの事で、近隣も含めて一度も停電にはなりませんでしたが、しかし、停電にならなくても取引の相手先が停電になっていますので仕事に支障が出ます。

外の照明看板を、夜の7時には消すように設定し、細かな節電に心がけました。電気が無ければ仕事になりません。パソコン・コピー機・電話・印刷機など、すべて電気を使っています。電気が無ければ仕事が全く出来ないと言う現実を思い知らされました。

ガソリンが手に入らなくなった時は本当に困りました。長い列に並んでやっと少し入れられた時はホッとしましたが、あまり使わないようにしようと思って、結局はあまり車に乗りませんでした。

雨が降ったときに、埼玉県の一部の水道水に放射能の値が出た時は驚きました。大きな影響が出る数値ではないという事ですが、幼い子供を持つご家庭は心配です。放射能は多少なりとも漏れ続けていますので、油断は出来ません。

困難なときにこそ「家族の繋がりが大切」だと再認識しました。普段はなかなか連絡を取らない家族ともお互いの安否を確認しあい連絡方法を打ち合わせしました。

地震の後で電話が通じなかった時は焦りましたね。誰もが自分が無事である事を家族に伝えたいと思い、家族の安否が心配です。私は家族間で「携帯メールで文章を作って送信する」と知らせたい家族全員にメールが送れる設定をしました。

日本のあちらこちらで義援金を呼びかけています。指扇駅前でも小学生や中学生が募金箱を持って、駅前を通る人たちに呼びかけていました。

自分に出来る事をそれぞれの人が行動に移しています。日本人全体で助け合っている姿を見ると、心があったかくなります。

お金だけではなく、自宅にあるものを役所などに寄付しに出かけたりする人もおられます。



西区不動産専門店・賃貸・売買・リフォーム・保険・法律相談・サイクルセンター



岡山佳代子

株式会社アプローチ (旧) 南マンションセンターさいたま

TEL048-621-1300/FAX048-621-1301

お客様ご相談窓口 0120-241-060

〒331-0074

さいたま市西区宝来1717-5

<http://yamatokun.info/> mail info@yamatokun.com

■定休日 毎火曜

■営業時間 10～19



岡山 貴紀



いろいろな人の行動や気持ちに触れるたびに「日本人に生まれた事を誇りに思う」事ができました。

製造関係の仕事・流通の仕事をしている人たちも日本全体が関わっていたのだと再認識しました。1つの商品を完成させるのにもたくさんの会社のたくさんの人々が関わっています。大震災で工場の製造がストップすると、全国の商店に商品が入ってこなくなりました。どんな小さな仕事も重要な位置を占めているのだと知る良い機会でした。

少子高齢化の日本ですが、今は真剣に未来の日本を考える時です。特に40歳未満の人たちに幸せな未来が来るように、今までの生活を見直して大幅な改善をする時代が来ました。

空気がきれいになると、空も澄んで夜空には満天の星が見えるようになります。環境に気を付けると、自然が美しくなりおいしい水が飲めます。それぞれの人たちが家族や近所同士で助け合うと、孤独死が無くなります。

そして老人から子供に大切な事を受け継いでいくと、たくさんの知恵が生まれて賢い生き方が出来ます。科学の発展だけが幸せではありません。自然を大切に、人を大事に、思いやる心を育てましょう！

春休み、田舎の自然を思う存分満喫してきました。みんなで力を合わせてバケツ4杯のツクシを取って、ほっぺが落ちそうに食べて、



2. 中古マンションの売買契約！

中古マンションの売買契約が続きました。売却依頼を受けていました「ハイマート大宮」ですが、1年近く経過してやっと契約する事が出来ました。今まで時間が掛かっていたのは、市場価格と売り出し価格の間に価格差があったからです。

金額を下げて、なおかつ購入申し込みの時に価格交渉をしてやっと承諾を頂きました。売主様は少しでも高く、買主様は出来るだけ安く、双方のお客様のご希望はそれぞれです。

それにしても指扇地区の中古マンションは安いのです。400万円台で購入出来る物件もあるのですから。

40歳代後半になって、不動産購入を真剣に考えておられる方が増えてきました。家賃を支払い続けるより、マイホームを持つ事の方が、老後の生活が安泰だと考えられる人が増えたのです。中古マンションに限らず、新築一戸建の価格もお手ごろになりました。若い方でも手が届く範囲です。

今年の春は安めの売買物件がよく取引されています。中古マンションを選ばれた理由は、「職場に近い・価格が安い・環境の良い地域に暮らしたい」と答える方が多いです。現金で購入される方、ご商売をされていてご自分でローンを組まれる方が目立ちました。今少し決断すれば、あと30年くらい住めそうな中古マンションは人気があります。

今から売却を考える方は、金額が安くなる事を覚悟して売りに出す事になります。ご説明する迄もなく、お客様は市場の売り出し価格に敏感です。ものすごい勢いでインターネットの普及が進み、今ではパソコンを持たずに携帯電話やiPhoneなどのモバイルで物件検索が出来る時代となりました。情報のほとんどを知る事が出来ますので、時代とかけ離れた金額では全く問い合わせがきません。

買主様にとっては選ぶのにとても便利になりました。便利になりすぎると営業としてご説明するにも、それ以上の情報や知識が必要になります。時代をリードする不動産会社となって、お客様のお手伝いをさせて頂くには、最先端のシステムの勉強もしなければなりません。

しかし、ハイマート大宮が売れた経路は現地看板でした。いろいろな手段で広告していくのが売却の決め手となっています。金額を頑張るより、適正価格で早く売却できた方がお部屋も傷まず、管理費や固定資産税の負担が少なくて済みます。

これからの時代を考えると、価格アップは見込めませんので早く手放した方が良いかと思えます。売主様にとっては厳しい時代ですが、建物はどんどん老朽化していますので、安くなる

のが当然なのです。意識を変えて前向きに取引に臨みましょう。

ところが、東日本大震災が起こり、事態が一変しました。1件は無事に引渡が完了したものの、残りの1件の決済引渡が延期となり、見通しがつかなくなってきました。購入したお客様は中国国籍の方です。先日ご来店されて「今から奥さんの後を追って中国に帰ります。必ず戻ってきて決済します。」と話していました。

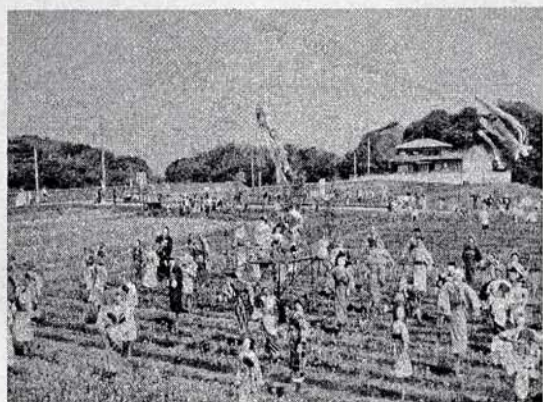
日本の震災や原発事故でたくさんの外国人が母国に帰りました。まさか私の仕事にもこんな形で影響があるとは考えてもみませんでした。契約をしたものの、残りのお金を払って頂かないと引渡が完了しません。

日本に二度と帰ってこなければ、違約による損害金支払いとなります。でも震災がなければこのような事は起こらなかったのです。裁判をしても結果は見えてきません。そんな問題でもないですが。

リフォーム工事をしても設備の備品やサッシなどが業者の手に入らないと言われていきます。復興の為に東北方面に資材がすべて送られているのです。大手の建築会社でさえ、建築中の建物が完成する見通しが無いと嘆いておられます。

今までとはすべてが違うのです。そんな中で私たちはお客様のために、仕事を通じてお役に立てることを考えています。
「震災被害者のために住居のご提供を！」
お客様に呼びかけています。
店頭に掲示、訪問して声掛け、チラシを作成して配布しています。

私は自分の体験で大変な思いをしましたので「住居の事で困っている人がおられたらお役に立ちたい」と考え、今の仕事を続けています。やっと本領が発揮出来る時代が訪れたのだと考えます。



淡路島の力カシ祭り！
着物を着て楽しそう。

3. 震災被害者の方の賃貸契約！

東日本大震災の被災者が、さいたま市の親戚を頼って引っ越して来ると相談を受けました。家主さんに相談して普通より安い金額で貸せるようにしようとの事でしたが、結果的に家賃は無償という事になりました。アプローチでは何組かのご相談を受けたのです。

福島から命からがら避難されてきて、着の身着のまま今後の生活の見通しも立たない大変な人たちです。家を失い、家財を持ち出す事が出来ず、仕事も続けられません。命が助かって良かった！そう言っているご家族です。当社もお役に立てる方法だけを考えました。

お客様の紹介で「仕事に来るのにガソリンが無いから通勤出来ない。数人で寝泊まりする部屋を貸して欲しい」とのご相談がありました。ガソリンが無いと本当に困ります。

まだクリーニングしていないけれど、自分たちですとの事でした。家賃を少し安くして契約しました。普段なら掛からない経費です。

困っている人たちの少しでもお役に立てて良かったです。みんなで譲り合ってこの危機を乗り越えなければなりません。

企業も大変です。
電車が止まる。社員が車通勤出来ない。余計な出費が増えます。

私のところもガソリンが入れないので一時期、ご案内は自転車以外ではしない事にしました。それでは契約も進みません。でもお客さんも少なかったです。こんな時に引っ越そうなんて考える人はいないのでしょうか。

福島の原発もいつ落ち着くのでしょうか？
地震後しばらくの間、仕事も多くは無いし、物資も少ないし、生活しにくいので息子家族を淡路島の実家に行かせました。両親も突然の賑やかさに喜んでいる事でしょう。

私の孫達も自然の中で数日過ごせば、いつか自然の中で生活したいと思うのでしょうか。私一人の仕事はちょっと寂しいけれど、家族にとって有意義な時間を過ごせていると嬉しいです。

指扇駅周辺は計画停電に一度もなっていません。停電にならない事は便利ですが、変なストレスが溜まります。こちらの電気が通じていても、仕事先に電話が通じませんので、どちらにしても仕事に支障が出ます。

普通の生活が出来るのはいつでしょう？
 ・・・・と思いながら、普通の生活って何？と疑問を感じました。知恵を出し合って、前を向いて元気に歩む事が普通になるといいですね。

4. 地球が怒っている！

何かあった時に、その人の生き様が評価されます。亡くなったあとに価値が解るのです。でも生きている内に自分を表現して、みんなと仲良くお付き合い出来る生き方がいいですね。

人が宇宙に行ける時代に、どうして福井原発を静める事が出来ないのでしょうか？

科学が発達しているのに、なぜ人工的に雨を降らせられないのでしょうか？

私が生まれたのは淡路島の山奥です。山に囲まれた農家で、今思えばとても原始的です。電話は村の呼び出しのような・・・。話し声がどこの家の誰にでも聞こえるシステムの電話。

牛がいて田を耕していました。手作業で田植えをしていました。私専用の畑を買って、苗からキュウリやトマトを育てて収穫しました。しいたけを栽培して食べていましたので、私は今でもしいたけが大好きです。

学校には30分掛かって山道を歩いて通いました。暗くなっても外灯が無くて、隣の家とは500m離れています。夜は月や星が綺麗に輝いていました。空気は澄んでいて、とてもおいしかったです。「おーい」と叫ぶと「おーい」と山彦がかえってきます。

山羊やうさぎを飼って野草などのエサを取ってきてあげました。ニワトリが卵を産んでヒナになって・・・。ヒナに名前を付けて可愛がっていました。ヘビが住み着いていて怖かったです。ネコがねずみを追いかけていました。

時代がどんどん変わり、電話がダイヤル式になり、そしてプッシュホンになりました。大きな携帯用電話になった時に母が持っていたのを覚えています。車に電話が付いたり、携帯用電話が小さくなってきました。ポケットベルが出来るほとんどの人が仕事で使っていました。そして携帯電話になったのです。

携帯電話でメール交換、インターネット。今はiPhoneでPCと変わりません。半世紀で地球の発達表現が出来ないくらいの大進歩を遂

げました。

でも人々は、自然を破壊し続けたのです。地球を掘り返し、道路や建物を造りました。空気を汚し、海を汚してきました。

世界的な天候不順、温暖化。地球が誕生してから、たった50年間でこんなに大変化をした事は無かったでしょう。便利になったと言っても、自然災害に遭ったとき誰も何も出来ないという事を知りました。

ちっぽけな人の存在。でも考え方によっては恐ろしい化け物です。地球をこんなに怒らせてしまつて。

後悔しても50年前には戻りません！
 それなのに、1人では生きていけない弱い人間ばかりです。電気・ガス・水が無くなると生きていけない私。どうしましょう？

私は5年位前に山岳部に所属して何回か山登りをした経験があります。山でテントを張って寝袋で寝ました。トイレは自然の中で、それでもルールがあります。

自然の中で地球の歴史を見ました。小さな花も一生懸命生きています。自然を破壊したら自然に仕返しを受けます。

もう地球を怒らせるのはやめましょう！
 家が無くてでもテントと寝袋があれば眠れます。贅沢はやめましょう。今こそ人々が知恵を出して協力しあう時代になったのです。自然に恩恵を受けている私たち。自然を守っていきましょう。

みん
おは
んは
本あ
当ち
のや
家ん
族が
み作
たっ
たい
。力
+



5. 地震が仕事に及ぼした影響！

家主様からメールが入っていました。
 「私のマンションの様子を見てきて下さい」
 現地に行くとタイルが剥がれ、あちこちヒビが入っていました。

別のお客様から電話が入りました。
「明日、仙台に住む父親に契約書に署名捺印して貰おうと思っていたけれど行くことが出来ません。無事だという事が解って良かったけど、入居が間もないし困りました。」

管理会社に連絡して、保証人記入欄は待つて頂くことでご了解頂いたのですが、交通機関の復旧見通しが立たないため、別の連帯保証人様を立てて頂く事になりました。

一時期、電車がなかなか再開しないのでアプローチの社員が何度も遅刻してきました。会社に出社できない人がたくさんテレビで映し出されていましたね。企業は予定を組んで仕事をしていますので、社員が揃わないと仕事になりません。どこの会社も大変だった事でしょう。

埼玉のあちこちでも瓦が落ちたり建物に被害があります。お客様との携帯はなかなか連絡が取れませんでした。以前にリフォーム工事を請けたお客様も不具合の連絡がありました。

新しく下駄箱を取り付けたものの地震の後、扉が開かなくなったと言われるのです。結局は地震で扉が歪んだのではなく、揺れるとロックされて開かなくなる最新下駄箱だという事が解り、笑い話ですみましたが、他にも補修を業者に依頼する仕事が多くなりました。

忙しいはずの3月でしたが、大震災以降、転勤のお客様が中止になったり、お引っ越しを自粛している人が多くなったようです。でも埼玉は被害が比較的少なかっただけでも感謝しましょう。関わっているお客様も、どうぞ無事でおられますように。



国会議員さん
日本を良くして下さい。
私たちの声を聞いて下さい。
おねがいします！

6. 生活保護受給者こそ廃校へ移住を！

国は税金の使い方を間違えてるといつも思います。私に関わる生活保護費受給による住まいの賃貸借契約ですが、お客様は役所から毎月たくさんのお金を貰っています。一人暮らしなら

家賃の上限が47000円です。

地域によって物価相場が違うので、生活費全体の受給額も違いますが10万円以上を払うのだったら、家賃が掛からない所で共同で住んで欲しいと思います。そして自給自足で生活すれば国民の負担が減ります。

生活保護を受けるようになったのも原因がいろいろとありますが、健康な人であれば自分が生きていくのを人に頼らないで欲しいです。申請が通り、毎月生活保護費を受け取るのが当然という顔で生活されていますが、そのお金は私たちが払っている血税なのです。

一生懸命働いて、収入を得た中から身を削るような気持ちで税金を支払っています。でも生活保護費を受け取っている人の多くは税金自体を支払っていない人が多いのです。そして権利として受け取っています。私はそこに大きな矛盾を感じています。

災害を受けて避難している人たちの環境を見るたびに、何もしないで普通の住まいにすんで普通の生活をしている生活保護受給者を思うと腹立たしくなります。これを機会に国がお金の使い方をよく考えて下さい。

4月は統一地方選挙です。指扇駅の周りでは毎日立候補者の演説があります。本当に素晴らしい事を話されていますので、私も応援しようと思いますが、有言実行で必ず私たちの期待に応えて下さい。

もし私が議員に立候補したとすれば、市も経営者と同じ考えをして収入と支出のバランスを考え、市民にアイデアを出して頂き、それらを受け取る場所を広くします。市民がみんな議員と同じ考えを持って、未来の町を良くしていこうという観点から物事を考えるのです。

今は厳しいかもしれませんが、被災が大きかった町に比べると私たちは幸せです。強くて元気な町を、誰もが助け合える環境に、今の気持ちを忘れないように、私たちの子孫のために立ち上がりましょう！

廃校になった学校や不要になった建物は多いです。古くなくても修繕すれば使える物もあります。土地も多く余っています。収入が無くて税金に頼ろうとしている人がいます。これらを繋ぐと、何か灯りが差し込むような気がするのですが、皆さんはどう考えられますか？

7. 突然の別れ、でもベストな最後!

毎月家賃を持参する男性が、仕事帰りに事務所に立ち寄られました。今日は家賃を支払う日じゃないのに・・・。

「母が亡くなりました。1人になりましたがあのマンションに住み続けても大丈夫ですか?」

「えっ?お母さんが? だって仕事をしていたでしょ。」

朝電車に乗ろうと駅に向かったとき、急に体調が悪くなり自宅に戻られたそうです。勤務先に休むと連絡をしてから横になったのでした。息子さんは夜勤明けで家にいたので少し休めばよくなるだろう位に考えておられたようです。しかし、10分ほどして様子を見に行ったら、もうダメだったとの事です。

まだ71歳の小柄で元気なお母さん。あっけなくこの世を去られたのでした。私とこの親子との関わりは深いです。お母さんとはトラブルの件で何度も話し合った事がありました。あれは8年前の事でした。

家主さんから家賃滞納者の事で相談を受けました。15年も貸家に住んでいる入居者が積み重なって2年分の家賃を滞納しているとの事でした。紹介してくれた不動産会社は、「仲介だから双方で話をするように」との冷たい返事で、弁護士に相談したら内容証明書を出すだけで進展が無いとの事でした。

そこで私に相談が来て、問題解決のために乗り出したのです。ほとんどの滞納者は自宅にはほとんど寝に帰るだけでヒソソリと暮らしています。ポストにはあちこちからの請求書が来ています。手紙を置いても見ても見ぬふりをするので返事がありません。

毎日毎日訪問してはドアに手紙を入れた封筒を貼り付けました。滞納者の心理は、毎日訪ねて来られるだけで動揺するのです。

ある日の事、男性から電話が掛かってきました。とても暗くて低い声です。おどおどして聞き取りにくいです。

私は優しく話しかけました。

「ご相談にのりますよ」

しばらくして男性が事務所にやって来られました。この男性は当初は貸家に両親と一緒に住んでいました。

でも父親が商売に失敗し行方不明になったそうです。何年も消息が分らないと話しておられます。

「どうして決められた家賃を払わないのですか?」

「・・・・・・・・」

下を向いたまま話が進みません。

根気よく静かに話をしましたが、私は段々と感情が高ぶってきます。

2年も家賃を滞納したら全額支払うなんて無理です。「今すぐすべてを投げ出して逃げてもいいんですよ。人に迷惑を掛けて平気ならさっさと出て行きなさい!」

男性はキョトンとして顔を上げました。

「もし逃げたらあなたは一生逃げ回ることになる。普通の人がする事をしないんだから、逃げ回って暮らせばいい。でもここで真面目に働いてコツコツ家賃を支払ったら、あなたは胸を張って生きていける。どちらを選ぶのもあなたの自由。」



怒鳴ったり同情したり、母親の話をしたり私の経験談を話したり、その説得は2時間に及びました。

・・・・そして、・・・

「今から頑張って家賃を払って行きます」と言われたのです。私は毎月の返済計画を書いて、そこに署名と捺印を貰いました。

毎月の家賃さえ支払えないのに、毎月2ヶ月分の支払念書です。私はほとんど不可能だと思いました。ただ家主さんへ少しでも多くの家賃を回収してあげようと考えていました。

男性は毎月約束を守りました。下を向いていつもオドオドしていたのに、段々と胸を張って顔もシッカリしてきました。ある日名刺を差し出して「ここで働くようになったんです」半年経ち1年経ち、とうとう半額にまで減りました。

そしてとうとう完済したのでした。家主さんと私はそれはもう、喜び合いました。そして本人に「おめでとう」と言ったのです。まさか2年分の滞納家賃をコツコツ支払い続けるとは・

・ ・ すごい根性です。

その間、お母さんは表には出て来ませんでした。すべてを息子に任せていたのです。私は同居していながら冷たい無責任な母親だと思っていました。

貸家が古くなったので、退去して頂くことになり、賃貸マンションへの住み替えをお手伝いしました。引っ越してから、そのお母さんが野良猫にエサを上げているのを見かけたので注意しました。駅の周りに野良猫が増えて、不潔になったり益々野良猫が増えて困ります。

仕事に出かける姿を見かけました。そして猫にエサを上げる為に夜出かけていました。何度か出くわしたので注意しました。本当に元気なお母さんでした。その人が亡くなったのです。

裕福な家庭に生まれ育ち、結婚した相手の不運、ご苦労も多かった事でしょう。人は誰でも自分の最後を思い描きます。とくに50歳を過ぎたら「こんな死に方をしたい」と考える時があります。

病気にもならず、認知症で家族に迷惑を掛けることもなく、まだ綺麗なうちに苦しまずあつけなく、このお母さんは旅立ちました。

いい息子さんに育てましたね。優しい子だって自慢してたっけ。これからは自分の人生を考えなさいってハッパ掛けておいたからね。困ったときはいつでも相談に来るように言っておいたから。

安らかにお眠り下さい。



第3木曜日にゴルフを開催
ラウンドメンバー募集中!

8. おかやま的ココロ

4月です。しかしいつもとは違う4月になってしまいました。過去最大の広範囲に渡る地震町もろとも飲み込む巨大な津波、そして原子力発電所の事故。

2つの天災と1つの人災が、広く日本に影響を及ぼしています。被災された方々にはこの場を借りて心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震での被害は、皆さんにとってどれほどのものだったのでしょうか。アプローチは事務所の棚が倒れましたが、すぐに外へ避難したので幸いみんなケガもなく無事でした。過去最大の地震が起こした余波はまだ続きそうですが一日でも早く復興できるように自分に出来ることをやっています。

最近では色々な方が口を揃えて暗い話題ばかり口にしていますが、あえていつも通りのスタンスでこの「おかやま的ココロ」を書いていきたいと思っています。

さて、今回のテーマに関して時期が時期だけに悩みどころですが、皆さんに少しでも笑顔になっていただきたいという思いを込めて、第一生命が毎年行っている「サラリーマン川柳100選」に今年ノミネートされたものの中から、特に僕が気に入った作品をご紹介します。

- ・ ボーナスは メガネかけても 飛び出さず
- ・ そびえ立つ 妻は我が家の スカイツリー
- ・ 体重計 乗るたび「ゲゲゲ」な 我が女房
- ・ イクメンと 乗せられ今や 家事すべて
- ・ 老人会 65才は パシリ役
- ・ 何になる? 子供の答えは 「正社員」
- ・ 金かけて 整いました 妻の顔
- ・ 子育てが やっと終わって 次は親
- ・ 怒らすな ママの怒りは パパに来る
- ・ 天職を 求めて転職 いま無職
- ・ マイホーム 持ったが無いぞ マイルーム
- ・ 「パパ嫌い」 だけどお前は パパ似だよ
- ・ 「タバコくさっ!」 やめても娘が「オヤジくさっ!」
- ・ あやつれぬ ネット・携帯 妻・子供

- ・ 我が家でも 領土問題 「あなた邪魔」
- ・ 我が孫に トイレの神様 聞かす祖母
- ・ 「ちょっといい？」 軽い言葉に 重い罨
- ・ 怒るなよ 「怒ってない！」と 怒る妻
- ・ デトックス 言う妻体型 デラックス
- ・ いつかやる きっとやるぞと もう定年
- ・ ときめきは 四十路過ぎると 不定脈
- ・ 風呂の順 2番じゃダメかと 追い出され

いかがでしょうか。

このサラリーマン川柳は、時事ネタをうまく織り交ぜて一般のサラリーマン達を作った川柳です。とても身近に感じるので、広い範囲の方々にウケると思います。

見ていると「あ〜、あるある（笑）」と思わず笑ってしまうようなものもあって、個人的にツボにハマっています。皆さんも頭の体操で考えてみても面白いと思いますよ。

それでは、震災からの復興を願って1つ川柳を…

- ・ 地震から 復興させるぞ 自信持て

今回ご紹介した川柳の他にも、たくさんのサラリーマン川柳が第一生命のホームページで紹介されているので興味のある方は覗いてみてはいかがでしょうか。それではまた次回。

第一生命ホームページ

<http://event.dai-ichi-life.co.jp/company/senryu/best100.html>

9. ほほえみ日記

今月は帰省中の淡路島からお届けします。

約一年ぶりの淡路島。こちらは毎日本当にいい天気！！空にはカラスのようにトンビが舞い埼玉ではみかけなくなったスズメの声で目覚めます。

皆さんがイメージするような、山に囲まれた田舎です。夜車で走っているとタヌキが横切るなんてこともしばしば。家の中をネズミが走り、畑ではモグラを発見！

子ども達は初めての事ばかりで刺激的な毎日を送っています。

田舎のゆるやかな時の流れを満喫しつつ、やはり原発の事が頭を離れません。東日本中の人々が不安に煽られ、情報が錯乱し、一体何を信じればいいのか。

“何でもありすぎるのが普通”だった生活から一変し、先の見えない生活になってしまいました。

しかし大事な今はこれからどうするか。

私達は親として一家の舵を取らなければなりません。大事な命を運ぶ為、冷静に・前向きに進まなければならないと思っています。

最近CM等で、被災地に対して“頑張れ！”という言葉を目にします。

しかし被災して、家族・家・職場等全てを失った方々にその言葉は酷だと思えます。

私が声をかけるなら

“頑張らなくていい！踏ん張って！”

あちこちで見かける台詞ですが、ここでも書かせて下さい。

東日本大地震におきまして、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々およびご遺族の皆様に対しまして、深くお悔やみ申し上げます。

被災地におかれましては 皆様のご無事と一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

《アプローチのスタッフ一同》



タヌキ・モグラ・ネズミがいたよ！